

あおぞら21



平成31年度一般会計当初予算(骨格)可決(3月会議)
一般会計歳入歳出総額 96億2,272万円 2
倒壊の恐れがある危険な空き家はどうする(一般質問) ... 4

表紙: みんなでワイワイおいしいごはん~みふね地域食堂・子ども食堂~(3月28日:街なかギャラリー)

3月定例会
31年4月15日
No.139
熊本・みふね町議会

平成31年度一般会計当初予算(骨格)可決

一般会計歳入歳出総額 96億2,272万円

3月会議を3月8日から16日に開催し、31年度一般会計予算を含む議案等34件を審議採決した。また、一般質問には3人が登壇した。

3月議会で決まったこと (3月7日~15日)

議案号数	簡易議案名	概要	質疑・討論の有無	採決結果
報告18	専決処分の報告について	災害関連地域防災がけ崩れ対策(上野②)工事の変更契約	無	報告
議案88	損害賠償の額を定めることについて	町道竹下線自転車事故における損害賠償額について	有	全会一致で可決
議案89	損害賠償の額を定めることについて	梅雨前線豪雨による町営住宅中原団地法面の崩落事故における損害賠償額について	無	全会一致で可決
議案90	財産の取得について	南木倉仮設住宅利活用用地の買い入れによる財産取得契約	無	全会一致で可決
議案91	財産の取得にかかる変更契約の締結について	古閑迫災害公営住宅の買取りによる財産取得変更契約	有	全会一致で可決
議案92	工事請負契約の締結について	高木⑧地区宅地耐震化推進滑動崩落対策施設(拡充)工事の変更契約	無	全会一致で可決
議案93	御船町町民グラウンドの指定管理者の指定について	町民グラウンドの指定管理者の指定	有	全会一致で可決
議案94	御船町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	機構改革に伴う一部改正	無	全会一致で可決
議案95	御船町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	機構改革に伴う一部改正	無	全会一致で可決
議案96	御船町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	委員の追加及び名称変更に伴う一部改正	無	全会一致で可決
議案97	御船町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院規則の改正に伴う一部改正	無	全会一致で可決
議案98	御船町老人憩の家設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について	運営方法見直しに伴う全部改正	有	全会一致で可決
議案99	御船町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	法改正に伴う一部改正	有	全会一致で可決
議案100	御船町森林環境譲与税基金条例の制定について	法改正に伴う基金の設置による制定	有	全会一致で可決
議案101	御船街なかギャラリー設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	運営方法見直しに伴う一部改正	無	全会一致で可決
議案102	御船町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	機能別消防団員を設置するための一部改正	有	全会一致で可決
議案103	御船町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	水道事業経営戦略委員会設置に伴う一部改正	有	全会一致で可決

議案 104	平成30年度御船町一般会計補正予算(第5号)について	災害復旧費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 13,356,860千円	有	全会一致で 可決
議案 105	平成30年度御船町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	保険給付費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 2,385,459千円	有	全会一致で 可決
議案 106	平成30年度御船町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	地域支援事業費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 1,979,280千円	無	全会一致で 可決
議案 107	平成30年度御船町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)について	総務費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 216,800千円	無	全会一致で 可決
議案 108	平成30年度御船町緑の村運営事業特別会計補正予算(第3号)について	総務費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 52,407千円	有	全会一致で 可決
議案 109	平成30年度御船町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	総務費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 517,611千円	無	全会一致で 可決
議案 110	平成30年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計補正予算(第3号)について	総務費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 92,682千円	無	全会一致で 可決
議案 111	平成30年度御船町水道事業会計補正予算(第3号)について	水道事業費に係る補正予算 予算総額 収益的収入及び支出 収入 326,370千円 資本的収入及び支出 支出 439,175千円	有	全会一致で 可決
議案 112	平成31年度御船町一般会計予算について	予算総額 歳入歳出 9,622,722千円	有	全会一致で 可決
議案 113	平成31年度御船町国民健康保険事業特別会計予算について	予算総額 歳入歳出 2,344,435千円	無	全会一致で 可決
議案 114	平成31年度御船町介護保険事業特別会計予算について	予算総額 歳入歳出 2,076,835千円	有	全会一致で 可決
議案 115	平成31年度御船町後期高齢者医療事業特別会計予算について	予算総額 歳入歳出 223,523千円	無	全会一致で 可決
議案 116	平成31年度御船町緑の村運営事業特別会計予算について	予算総額 歳入歳出 21,162千円	有	全会一致で 可決
議案 117	平成31年度御船町公共下水道事業特別会計予算について	予算総額 歳入歳出 417,105千円	有	全会一致で 可決
議案 118	平成31年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計予算について	予算総額 歳入歳出 75,226千円	有	全会一致で 可決
議案 119	平成31年度御船町水道事業会計予算について	予算総額 (収益的収入及び支出) 収入 312,649千円 支出 304,962千円 (資本的収入及び支出) 収入 594千円 支出 115,598千円	有	全会一致で 可決
陳情 12	御船町囑託員及び区内調整員の設置並びに報酬等に関する条例改正の陳情について(継続審査)	囑託区再編に係る関係条例改正の陳情	無	不採択
議案 120	(追加日程) 工事請負契約の締結について	御船小学校外4校空調設備工事の工事請負契約	有	全会一致で 可決



Q倒壊の恐れがある危険な空き家はどうする A所有者の確認を行い、適正な管理を働きかける

岩永 宏介 議員

■御船町小中学校いじめ・不登校の状況（平成31年2月現在）

年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	いじめ	不登校								
小学校	21	4	25	1	21	2	19	6	15	4
中学校	1	10	20	17	14	12	22	11	19	10
合計	22	14	45	18	35	14	41	17	34	14

1 いじめの件数が多い学校への対応は

本田教育長 件数が多い小学校では、早期発見・早期対処ができず、解決が難しくなり、件数が多くなっている。御船中学校には小学校6校から入学してくる。集団になじめない、あるいは生徒同士がしっかりと交流ができないことからトラブルが起きている。しかし、学校では「いじめではないか、いじめかもしれない」の段階で早期に対処する考えが浸透してきた。

岩永議員 『君たちはどう生きるか（吉野源三郎著）』は、いじめについて児童生徒に考えさせる格好の教材だ。これをもとに御船町独自のいじめ防止の研修や研究を行ったらどうか。

2 児童虐待が急増しているが、本町ではどうか

本田教育長 現在学校で対処しているものが3件、こども未来課と児童相談所に相談しながら対処しているものが1件ある。

岩永議員 町内で児童虐待が起きないように、何らかの手を

打つべきだ。

藤木町長 私が就任直後から取り組んでいる問題の1つだ。地域や周りで虐待を発見しなければならない。

岩永議員 発見し、通報する際の電話番号は「189（いちはやく）」と政府も呼びかけている。このことを町の広報誌で知らせてほしい。

3 役場内でのハラスメント

吉本総務課長 過去5年間の相談件数は、26年度3件、27年度1件、29年度3件、30年度5件、合計12件だ。

※相談の内容は、パワハラ（暴言）に関する相談が9件、モラハラに関する相談が3件

岩永議員 相談体制は、どうなっているのか。

吉本課長 「職場におけるハラスメント防止に関する指針（2019年2月）」に書いてあるが、相談は口頭、文書、メールでも可能。総務課職員2名で相談に応じる。

岩永議員 総務係長及び窓口担当職員が相談を受け付けるようになっているが、例えばセクハラをされた人が同僚に相談に行くだろうか。

吉本課長 相談窓口を外部機関とすることも検討しなければならない。

岩永議員 相談件数は氷山の一角だ。相談しやすい環境（体制）を作るべきだ。そして、上司が部下に暴言を吐くこと自体が極めて問題だ。

4 倒壊の危険がある空き家はどうするのか

岩永議員 家屋が傾いて倒壊の恐れがある危険な空き家、これについて住民の方から2件相談を受けている。これについては、どのように対応するのか。

坂本企画財政課長 倒壊の恐れのある空き家が一番問題だ。来年度は、まず所有者の確認を行い、適正な管理を働きかける。また、有識者及び関係者で構成する「空き家対策審議会」を設置したい。

岩永議員 所有者の確認を行った際に、所有者は不明、倒壊の危険がある、それが通学路付近にある場合どうするか。

坂本課長 町で解体するのか、代執行もあるので、それも踏まえて設置予定の審議会で検討する。

Q大型商業施設誘致の進捗状況は A計画通り順調に進んでいる



一
般
質
問

田上 忍 議員

3つのインターチェンジを活用した町づくりをどう考えているか

藤木町長 全国的にも3つのインターチェンジはまれで、交通アクセスに優れている。この地理的優位性を活かして、熊本地震からの創造的復興を目指すために、御船町震災復興計画に復興産業拠点創出プロジェクトを位置づけ、企業誘致の推進を掲げている。具体的には、経済的波及効果が期待できる企業誘致に取り組み、地域振興の拠点形成を図る。

御船インター周辺への企業誘致の進捗状況はどうなっているか

野口建設課長 用途地域を準工業地域に指定をしていく業務を進めている。この用途地域を変える前に広域調整、地区計画が必要となる。まずは広域調整に必要な手続きとして、3月末を目途に概略の計画を進めている。県とも協議をしながら広域調整を9月までに完了させる計画だ。

大型商業施設は他の町へ進出するとの噂があるが実際はどうか

藤木町長 大型商業施設の本部と打ち合わせをしており、現在、南九州において大型商業施設の進出の確定というのは御船町以外にはない。

進出に向けて大きな課題等はあるのか

坂本企画財政課長 広域調整が一番大きな課題だ。ガソリンスタ

ンドの件は依頼とか通知とか一切町にはきていない。

残りの用地はどうする

坂本課長 残り5ヘクタールは、今のところ未定。

小池高山インターチェンジ周辺はどう考えているか

坂本課長 企業誘致の視点から、御船町の震災復興計画に位置づけ戦略的企業誘致の推進事業を踏まえ誘致検討を進めていく方針だ。具体的には、インターチェンジ周辺の一定の範囲は、農地法の規制が緩和されるので、相談に応じて個別案件として採用していきたい。

しかし、農用地域、農政補助金、インフラ整備の兼ね合いもあるため、整理して対応していく。

益城町と隣接しているが協議しているのか

坂本課長 土地の所有者は益城の方もいる。両町協働で対応する部分も必要と考えている。

上野吉無田インターチェンジの活用はどう考えているか

作田商工観光課長 観光につなげていきたい。

吉無田MTBフェスタは東京オリンピックの予選を兼ねているがどれくらいの利用者を見込んでいるか

作田課長 選手は180～200人、そして観客は地元を中心に500

～600人を考えている。インターを利用してもらい全国からの応援のお客様並びにその関係者を呼び込むPRをしていく。

大型バスで来る団体客はどのルートで来ると思うか

作田課長 過去には西原経由もあった。上野吉無田インターを利用した場合、道路が若干狭くて、木も道路に出ているので敬遠される。

野口課長 道路に出ている木の枝切りや伐採は必要になる。狭くなっている道路については、地方創生の道整備推進交付金あたりを活用して今後対応していきたい。

化石ひろばの活用はどうなっているか

作田課長 恐竜博物館では定期的に発掘体験を行っている。緑の村は5月の連休中に1回のみ。今後は博物館と連携して利用増を目指す。

野口課長 化石広場への道路は枝木がさしかかっているため今後予算の中で対応していく。

作田課長 道路の管理は建設課だが支障があれば商工観光課でもやっている。



Q 平坦地域における生産活動は

A 大豆生産の集団化及び生産拡大に向けた対策が必要

田中 隆敏 議員

農地復旧事業の状況は

藤木町長 熊本地震から創造的復興を目指し、農業生活基盤の復旧や農業振興策に取り組んでいる。被災農業者向け経営体育成支援事業にも取り組んでいる。関係農家より申請があった農業用倉庫舎、畜舎、農業用機械の再建や復旧が完了する見込みである。

藤野農業振興課長 農地等災害復旧事業については、472件中、462件が発注済で、年度内に50%が完了、31年度中に完了するよう取り組んでいる。

復旧農地を生かした中山間の生産活動は

藤野課長 農地災害は、水田が多く、水稲の作付けができない地域においては、高齢者でも栽培可能な野菜の説明会を、JAと一緒にやっている。農業者の高齢化、担い手不足で耕作されない農地が増加しているので、耕作放棄地が増えないような対策が必要。

平坦地域における生産活動と目指す農業は

藤野課長 水稲が主であり、加工米、飼料用米、飼料用稲、大豆、麦、葉たばこ、馬鈴しょ

等が作付けされている。生産調整が廃止となり、食用米が増加し、葉たばこ、飼料用稲が減少している。作付けが増加している作物として、大豆があり、今後集団化を図り、中山間地の大豆生産に加え、生産拡大に向け対策が必要。

特産品となる農産物はあるか

藤野課長 生産品目は、少量多品目が特徴であり、野菜、果実と農産物が少量ずつであり、特産品となるものはない。水前寺菜の生産も減少しているが、ブランドとしては、吉無田高原野菜として、ヒゴムラサキ（赤ナス）、キャベツ、にんじん等があり、高原野菜として生産が増加している。被災水田の水稲作付けができない農地において、菊芋、ほうれん草、菜花、小松菜を産

地交付金の重点振興作物として反当り2万2千円の交付対象とした。菊芋については、イノシシ等の被害も無く、今後増加すると考える。

大規模化が進む農業形態において、農業機械導入の状況は

藤野課長 認定農業者92経営体の内、農業関係法人は7法人である。機械導入に関する補助事業で経営体育成支援事業（3割補助）、担い手確保経営体強化支援事業（5割補助）と融資債型補助事業がある。

認定農業者であり、規模拡大、経費削減、農業収入増加、農地中間管理機構を活用した耕作者等の要件に基づいたポイント制となり、ポイントの高い農業者が採択決定となる。



経営体育成事業の補助により導入された大型機械

3月の議会活動

月日	項目	参加者	場所等
1日	御船高校卒業式	藤川議長	御船高校
	全員協議会	委員	審議会室
7日	3月会議	全議員	議場
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
9日	御船中学校卒業式	全議員	御船中学校
11日 ～ 14日	3月会議	全議員	議場
15日	3月会議	全議員	議場
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
18日	防災行政無線落成式	各議員	カルチャーセンター
19日	都市計画審議会	藤川議長 池田総務文教常任委員長	保健センター 2階
20日	町立小学校卒業式	各議員	各小学校
22日	古閑迫地区災害公営住宅落成式	各議員	古閑迫地区
23日	健康を守る婦人の会総会	清水副議長	保健センター 2階
	町立保育園卒園式	各議員	各保育園
25日	上益城広域連合例月現金出納検査	清水副議長	上益城広域連合
28日	第5回 熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会	協議会委員	益城町
31日	御船町婦人会総会	清水副議長	保健センター 2階

次世代へ

かがやく



ひと



西木倉 徳岡義人さん

木倉団地に居住して早四十年になる。
若かりし頃は、誰もかれも怒鳴り散らし血気盛んな時もあった。そんな私に十六年前、ある町議との出会いがあった。「私にとって生涯の誇りである。」
十二年前、その町議との関わりをもった私が一大奮起で区長の役に就いた。
旧態依然としたしがらみが残る西木倉区で、子供会・老人会・体育協会等々の行事を通じて『地域の活性化』とまではいかないが積極的に活動してきた。熊本地震後復興が徐々に進みつつあるが、なかでも賃貸住宅の建設がここにもかと思う程増えている。
新旧混在し、四百世帯を超えた当地において、いかに地域の分担組織体制の充実を図る事が今更な

がら重要と感じている。そんな私も、もう八十三歳である。耳も遠く人の話が聞こえづらいかと言って補聴器は付けたくない。老いは勝てず、自分でも困ったものだと笑うしかない。老い恥をかかぬためにも『私は、今季で勇退される町議ともに区長の役を辞する。』そう決めていた。しかし、あと1年だけ続行する事になった、2年1期だが…。ここ1年で地域の皆さんの協力を得ながら分担組織体制を作り、次に託したい。「自分達が住んでる西木倉なんだよ、御船町なんだよ。お互いに助け合い精神を発揮しよう!!」と言いたい。また、御船町においても然り、各校区から町へそして県、国へと一本の体制づくりが地震後の復興の実現には最も重要だと思う。町長以下行政の底力を見せてほしい。

議会の予定5月

- 17日 上益城郡議長会臨時会議
上益城郡監査協議会総会
- 23日 九央道沿線議会期成会
理事会・幹事会
- 28日 御船地区衛生施設組合議会
- 28～29日 正副議長研修会
- 30日 第1回熊本中央一般廃棄物
処理施設整備促進協議会

編集後記

四月一日、新元号が「令和」と発表された。「初春の令月氣淑く風和ぎ梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫らす」、安倍晋三首相は会見で「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている。」と述べられた。出典が中国古典ではなく国書となったのは初めてとされる。中国は清朝時代から元号がなくなった。元号があるのは世界でも日本だけである。西暦も便利だが、元号を使い続けることで理想に向かって進むことができるのではないか。

議員は、四年に一度の審判が下される年を向えた。四月二十一日には新しい議員が誕生する。広報誌作成も新メンバーで構成される。より身近な紙面を提供できるように引き継いでいきたいと思っっている。

清水 聖

議会広報編集特別委員会

発行責任者	藤川 博和
委員長	岩永 宏介
副委員長	中城 峯雄
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	田上 忍
委員	森田 優二